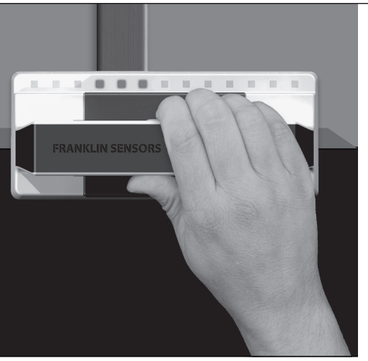
FRANKLIN SENSORS
PROFESSIONAL STUD FINDERS



プロセンサー710

プロフェッショナル

間柱検知器

重要：ご使用の前に必ずお読みください。取扱説明書は大切に保管してください。

作動／安全取扱説明書

フランクリン・センサープロ710

業界で最先端の間柱探知器をお手に取っていただいてありがとうございます。プロセンサー**710**は、表面の１３カ所を同時に、的確に読み取る最先端技術を組込んであります。そして直ちに表面裏に隠れた対象物の位置を特定します。これは業界内で最も使い易く、迅速で正確な間柱探知器です。

プロセンサー710の安全ルール

注意：ご使用の前に全ての取扱い説明をお読みください。安全取扱い説明に従わなかった場合は、電気ショック、火災さらには重大な負傷そして死に至る可能性もあります。

取扱説明書の保管

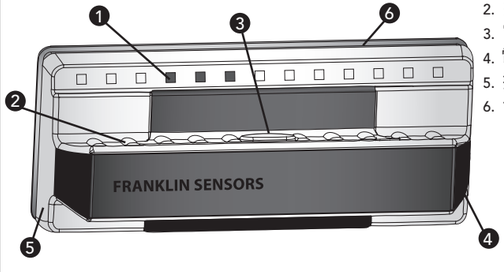
注意：表面裏に隠れている木材、金属、ワイヤーその他の対象物で検知されないものもあります。もしくは、検知する意図ではなかったパイプやワイヤーその他の対象物を探知器が発見する可能性もあります。
間柱探知器は、不整合の性質を特定せずにあらゆるものを検知するように設計されています。また検知する対象物の種類は、特定されません。さらに**LED**は、間柱、梁、水道管、ガス管、ワイヤー、表面の素材や塗料など様々な種類の異なる対象物の位置を検知する可能性があります。

注意：ドリル、鋸、くり抜き機、ハンマー、釘、ネジなどの穴あけ加工や貫通のための装置そして道具を使用する前には、必ずガス、水道、電気の電源を切ってください。

注意：間柱探知器だけで、探査する表面の裏にある対象物の位置を検知するのではなく、他の情報元もご利用ください。それらは設計図や壁面のパイプの穴、スイッチやコンセントの位置そして標準間柱の間隔などを含みます。

安全取扱い説明と使用上の注意に従わなかった場合は、電気ショック、火災さらには重大な負傷そして死に至る可能性もあります。

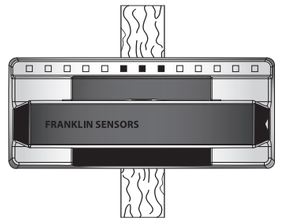
作動手順：



1. LED照明
2. 操作ハンドル
3. “オン”ボタン
4. 電池カバー
5. 探知器本体
6. センサーボード

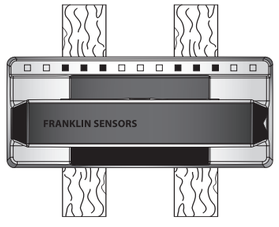
清掃
スイッチを入れる前に、間柱探知器が清潔で乾燥していることを確認してください。必要であれば、探知器を清潔な布で拭いて乾燥した状態にしてください。もし探知器が濡れて汚れている場合は、適切に作動しない可能性があります。

温度
間柱探知器が、重要な温度変化の影響を受けるのであれば、使用前に周囲の温度に適応するように確認してください。最適に機能するためには、センサーボード全体が一定の温度であることが必要です。

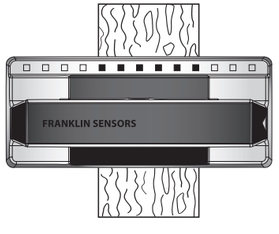


作動手順：

- 間柱探知器のハンドルを握ってください。検知する間は、ハンドル以外の場所を触らないでください。
- 表面にプロセンサー710をしっかりと固定して、”オン”ボタンを押してください。そのまま”オン”ボタンを押し続けてください。
- LED照明がすぐに隠れた対象物の位置を表示します。
- ”オン”ボタンは検知する表面に、間柱探知器を置く前もしくは置いた後に押される可能性があります。探知器は壁面を移動せずに間柱を検知しますが、壁面を移動させることで的確に作動します。



- 一つ以上の隠れた対象物が現れた場合は、探知器が一つ以上の隠れた対象物の位置を示します。



- LED照明が隠れた対象物の幅を表示します。

種類の異なる材料での検知：

湿気
検知する表面は清潔で乾燥していなければなりません。間柱を検知する前には、塗装や壁紙が完全に乾いている必要があります。壁紙が乾燥するまでには、最長で2週間ほどかかります。

曲線状の表面
住宅や建物のほとんどの壁面は、目立たない程度に曲線になっています。カーブは微小なため多くは気付きません。プロセンサー710 は、大抵の壁面形状に合うようにセンサーボードがわずかに曲がるようになっているので、曲線状の表面でも対象物を検知することが可能です。壁面に探知器をしっかりと固定して、センサーボードを壁面形状に合わせることで最適に作動します。

アルミ遮熱シート
アルミ遮熱シートはそれ程一般的ではありませんが、金属シートはプロセンサー710 を含む電動間柱探知器による不適格な判定を生じさせる可能性があります。

壁紙内の金属物
金属物を含む壁紙は、検知サインを阻害する可能性があります。

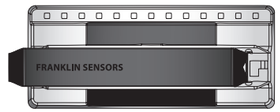
装飾壁面と天井遮音システム
プロセンサー710 は様々な素材の表面を検知することが可能です。最適な結果を得るためには、探知器を表面にしっかりと固定することが大切です。

木ずりと漆喰
漆喰の厚さの違いや異なる施工材料は、木ずりと漆喰壁の裏側に間柱をことを難しくする可能性があります。さらに、漆喰壁が補強金網を含んでいる場合は、探知器が金網を通じての探知できません。木ずりと漆喰壁にプロセンサー710 が機能することは保証でききません。

床、屋根、建物外部
プロセンサー710 は、間柱の位置を確定するために、センサーが感知する材料の密度を計測しています。床、屋根そして建物外部の材料は密度が様々に異なるために、プロセンサー710 をこれらに適用することを推奨しません。

ステッカー / 転写シート
間柱探知器に転写シートやステッカーを貼付けないでください。特にセンサーボードに金属製の転写シートやステッカーは絶対に貼付けないでください。

解体 / テフロンパッド
間柱探知器を解体したり、底に付いてあるテフロンパッドを取り外さないでください。テフロンパッドが適切な位置に装着されていない場合は、間柱探知器が正確に機能しなくなります。



電池
プロセンサー710 はAA 乾電池を2本使用します。アルカリ電池のみ使用してください。充電式電池は使用しないでください。また2 本の電池は同時に入れ替えてください

電池の取り替え手順

- 電池カバーを左へスライドさせて持ち上げて取り外してください。電池を取り外して、適切に処理してください。リサイクルしましょう。
- AA アルカリ乾電池を2本取り替えてください。
- 電池カバーを閉じてください。カバーが適切な位置へおさまるまで右へスライドさせてください。

保管
間柱探知器は、室温で清潔な乾いた場所に保管してください。直射日光と湿気は避けてください。

環境状態

保管温度	-18°C から 50°C
作動温度	0°C から 43°C
保管湿度	0% から 90% 相対湿度（非結露）
作動湿度	0% から 90% 相対湿度（非結露）

米国及び海外特許出願中

Rev. J

トラブル対処方法

状態	予測される原因	解決方法
LED 照明が作動しない	電池が弱い	新しいAA アルカリ乾電池2本の交換
間柱探知器がわずかな間しか作動しない	“オン”ボタンが押されていない	検知を完全に終えるまで”オン”ボタンを押し続けてください。
LED 照明が間柱だけでなくパイプやワイヤーの位置を示す	プロセンサー710 は一貫性なく対象物の位置を表示します。LED 照明は検知する表面の近くにあるパイプや電気ワイヤー、表面上の素材や塗料その他の対象物を表示することもあります。	均等に配置された間柱の両側を探してください。結果を確定するために上部と下部を検知してください。壁を貫通させないように注意してください。プロセンサー710の安全ルールをご参照ください。
ドアや窓の近くになると検知が難しくなる	ドアや窓の近くでは、ダブルやトリプルの間柱もしくは固定枠が多く見受けられます。間柱探知器は、間柱を正確に特定するために、間柱がない場所も必要とします。	窓やドアから離れたところで検知を開始して、それから窓やドアの廻りへ間柱検知器を動かすようにしてください。最適な結果を導くためには、検知器を窓枠やスイッチなどから10cm 離れた距離を保ってください。
新しい壁紙のところでは間柱検知器が作動しなくなる	壁紙を貼った後の壁面の湿度が、間柱検知器のサインを妨害している可能性があります。	壁紙が乾くまで待ちましょう。壁紙が効率的に乾くまでは、最長で2週間必要です。
1960 年以前に建てられた建物で、壁が木ずりと漆喰であるため間柱検知器がうまく作動しない	薄板石の代わりに、木ずりと漆喰で建てられた古い建物は、壁面に不整合が多過ぎて検知器が適切に機能しない可能性があります。	壁面の一番高い位置もしくは一番低い位置で間柱検知器を使うようにしてください。
検知する内容が不整合	曲線状になっている表面	壁面のカーブにセンサーボードが合うように、間柱検知器をしっかりと壁面に押し付けてください。
	例外的な表面素材	壁面の高い位置もしくは低い位置で試してみてください。押しているボタンから一度手を放して、再度ボタンを押してください。
	間柱検知器の一定時間の使用後は、検知が一貫しなくなることがあります。	隠れている対象物を検知するように、間柱検知器を壁面に当ててください。
センサーボードの前に手を置くと、予測される検知を示さない	間柱検知器は、手ではなく壁面を検知するように設計されています。	隠れている対象物を検知するように、間柱検知器を壁面に当ててください
LED 照明が点滅したり断続的に照らす	ワイヤー、パイプまたはその他の施工における不整合は、不規則で誤った検知を引き起こす可能性があります。壁の反対側にある物も、不整合な検知の原因になります。	壁面の高い位置もしくは低い位置で検知を試してください。間柱検知器は、コンセントや照明スイッチなどの金属部品から10cm 以上離れたところで適切に作動します。